シーズンオフの農機具の保管と手入れ

及川 章さん

今シーズンの農作業も終盤を迎え、頑張った我が家の農機具が休眠する季節となりました。そこで、冬期間へ向けての農機具（主にトラクターやバインダー、コンバインなど）の保管方法とメンテナンスを、奥州市江刺区田原のアグリメンテナンス代表及川章さん（61）に聞きました。真冬の前にしっかりメンテナンスを行い、来シーズンの故障や事故を減らして、快適な農作業を行いましょう。

❶一番のポイントは雨風に当たらない、乾燥した場所に保管すること。機械小屋など屋根の下がベスト。一番良くないのは野ざらし状態でシートをかけ保管すること。シート内に湿気がこもり、外観はもとより機械内部まで腐食する恐れがある。また、近年の農機具はマイコン内蔵のため、電気関連も湿気に注意を払う必要がある。

❷ガソリンエンジンに関しては燃料タンクを一杯にするか、空にすること。また、コックを閉め、エンジンを始動してキャブレターの燃料を使い切ること。キャブレターのガソリンが揮発したあとの残滓（ざんし）が来年の始動の際、故障を生じる。春先における農機具の故障の90パーセント近くがこの原因によるもの。

❸できれば、シーズンオフにオイル交換を行う。使ったままのオイルで一冬放置すると不純物が沈殿し故障の原因となる。

❹農機具の洗浄は大切なことだが、電装品やワイヤー部分の根元から水が入らないように注意する。水が入りワイヤーが作動しなくなる場合がある。

❺注油は冬の保管前に行うこと。油がなじむまで時間がかかるので、春に注油しても効果は薄い。洗浄し乾燥させた後に行うこと。

❻冬季に農機具を使用する場合、特にディーゼルエンジンは夏用と冬用で軽油の質が異なる。夏用を冬に使用するとエンジンが始動しない故障が発生する。冬用を夏に使うのはかまわない。

❼冬季のバッテリーは充電して外しておくのがベスト。そのまま接続しておくと放電する可能性がある。

❽設置型の調整機などでネズミによる回線切断が発生する場合がある。市販の対策品を活用するほかは、明るい場所に置き、カバーを徹底するなどする。

自宅の農機具の保管と手入れを十分行い大切に使用しましょう

農機具の手入れ方法は色々な方法があります。取扱説明書を十分確認して各自工夫してください

※ご注意

- 農機具共済は、共済目的に存在する欠陥、磨滅、腐食、さび、その他自然消耗の損害、消耗部品の損害による波及損害に対しては共済金のお支払いはできません。
- 日常の点検整備不良、管理不良による損害は共済金をお支払いできません。

農機具共済については建物農機具課　TEL25-6884まで